

第1回春日井市町内会活動支援検討会議 議事録

1 開催日時 令和4年10月6日（木）午後3時～午後5時20分

2 開催場所 春日井市役所 11階 1102会議室

3 出席者

【座長】	椛山女学園大学教授	谷口 功
【委員】	白山町内会連合会副会長	天野 美穂
	上条区長	安藤 秀司
	弥生区長	大西 弘
	元区長町内会長連合会長・元高蔵寺区長	下畑 隆義
	宮町町内会役員	鈴木 克幸
	元東野連合区長	瀧川 公資
	味美連合区長	丹羽 一正
	区長町内会長連合会長・牛山区長	平出 幸広
	元押沢台南町内会長	吉田 和江
【事務局】	市民生活部長	足立 憲昭
	市民生活部市民活動推進課	課長 林 一元
		課長補佐 米倉 利隆
		主査 亀田 浩史
		主事 徳村 政臣

4 議題

- (1) 会議の公開及び議事録について
- (2) 春日井市町内会活動支援検討会議の概要について
- (3) 春日井市の町内会活動の現状と課題について
- (4) アンケート案について

5 会議資料

- 資料 1 春日井市町内会活動支援検討会議委員名簿
- 資料 2 春日井市町内会活動支援検討会議設置要綱
- 資料 3 春日井市附属機関等の設置等に関する指針・議事録等の作成に関する指針（抜粋）
- 資料 4 町内会活動支援検討会議の概要
- 資料 5 町内会の現状と課題
- 資料 6 春日井市の町内会向け補助制度
- 資料 7 町内会活動支援検討会議に係るアンケート調査の実施について
- 資料 7 - 1 町内会活動に関するアンケート調査（案）
- 資料 7 - 2 市民向け町内会に関するアンケート調査（案）

6 議事内容

議題に先立ち市長挨拶、委員の自己紹介及び座長の選任を行った。

（1）会議の公開及び議事録について

【事務局 林】

資料 3 に基づき説明。

全委員より異議がなかったことから、検討会議は公開、議事録は要点筆記とし、委員全員の確認後、事務局が指名する委員 2 名が議事録署名人となることとされた。

また、事務局から今回の議事録署名人として、天野委員と安藤委員を指名し、傍聴者がいないことの報告を行った。

（2）春日井市町内会活動支援検討会議の概要について

【事務局 亀田】

資料 4 に基づき説明。

【谷口座長】

検討会議で出た意見を取りまとめ、市の支援策に関する報告書を作成するとのことだが、報告書は市の中でどのように取り扱われるのか。

【事務局 亀田】

報告書は、できるだけ具体的で実施可能な内容とし、市の施策に反映させたいと考えている。また、報告書の内容については市議会への報告を行う予定である。

(3) 春日井市の町内会活動の現状と課題について

【事務局 亀田】

資料5、6に基づき説明。

【谷口座長】

資料5の3 町内会加入率の推移について、市の総世帯の増加数と、未加入世帯の増加数がほぼ一緒に見えるが、これは転入者が町内会に入らないのか、それとも元々入っている人が脱会しているのか。

【事務局 林】

どちらの場合もあると思われるが、春日井市は交通の便がよいため、ベッドタウンとして単身世帯が転入してくる割合が多く、加入率低下の一因であると考えている。

【谷口座長】

転入者に対し、市から町内会加入の働きかけは行われているのか。

【事務局 亀田】

市民課や出先機関の窓口で転入手続きをされた方には町内会加入促進チラシをお渡ししているほか、チラシに掲載されているQRコードからウェブで加入申込ができるようになっている。

【谷口座長】

転入者に対して最後の一押しとなるような加入の働きかけはできないか。

【事務局 亀田】

転入者に対しては、市窓口でのチラシ配付のほかに、各町内会において個別に、引っ越してきた方のお宅を訪問するなど直接加入の呼びかけを行っていただいております、市ではチラシ作成・印刷の支援を行っています。

【谷口座長】

春日井市は町内会の構成が複雑で、自分がどこの町内会の区域に住んでいるのか分かりにくいため、町内会を意識し難い面がある。

【吉田委員】

町内会長を務めていたとき、不動産会社から町内会に関する問い合わせが入ることが多かった。加入につながるようなるべく丁寧に説明していた。

【谷口座長】

集合住宅の管理会社、戸建のディベロッパーなどにも町内会加入の協力をしてもらえるとよい。自治体から管理会社等に働きかけている事例もある。

【吉田委員】

市内には交通の便が悪い地域もある。そういった地域では、高齢者が買い物等で日常的に外に出る機会が減っており、家に閉じこもりがちになっている。地域活動を活性化させるためには、日常的な人と人のつながりから活性化させる必要がある。

【安藤委員】

住居形態、世代、家族構成によって町内会への意識は大きく異なる。駅が近い場所では単身者向けの集合住宅が増えているが、現役世代の単身者は職場と自宅の行き来がほとんどで地域活動に関心を持つような機会もなく、加入の呼びかけをすることは難しい。単身者でなくても、子育て、親の介護など町内会に入らない、脱会する理由は様々ある。町内会への意識が異なる以上、同じ会員という立場になってもらうのは難しい。市内の町内会で実例のある共益費制度（町内会員ではない住民に費用負担のみを求める制度）を広めるなど、住民の町内会への関わり方にもグラデーションをつけてはどうか。

【下畑委員】

地域のつながりが薄れている今、町内会の加入率を気にするよりも、未加入者も含めて、安心・安全なくらしができる地域づくりを目指すべ

き。地域で生活する人皆が参加し、つながりを作ることができるような地域活動の機会を増やしていくべきである。

【谷口座長】

加入率が低下すると、町内会の管理する防犯灯やごみステーションを費用等の負担なく利用するフリーライダーが増えていく。マンション等の集合住宅については、住人全員が共益費を支払うべきであるという判決が出ているが、町内会については、未加入者に費用負担を求める法律的な根拠はない。地域に住む人が自分の地域だという自覚を持てるようになれば共益費の負担を求めることも可能になると思われる。

現在、市の町内会への支援策は、市民が町内会に入っていることを前提としているため、フリーライダーがいることを考慮した支援策を考えていく必要がある。

【安藤委員】

町内会に入っていない人でも防犯灯の下を通り、ごみステーションも利用する。未加入者にも戸別訪問し、直接呼びかければ共益費を負担してもらえるのでは。

(4) アンケート案について

【事務局 亀田】

資料7、7-1、7-2に基づき説明。

【天野委員】

町内会長向けアンケートの質問2について、女性、男性とはっきり回答したくない人もいるので、その他、答えたくないといった選択肢も用意してはどうか。また、質問3の選択肢⑤について、専業主婦と記載されているが、男性であっても家庭に入って家事をされている場合もあるので専業主夫の表記も加えてはどうか。

【事務局 林】

質問2、3について天野委員のご意見のとおり修正する。

【大西委員】

町内会の高齢化対策に苦慮しているのです、アンケートでも高齢化対策について聞けるとよい。

【瀧川委員】

町内会に加入することのメリット、デメリットについて、加入していてもメリットがないという意見を多く聞く。アンケートにおいても、町内会長を務めている人の正直な意見を聞き、その声に対してできることを考えていく必要がある。

【吉田委員】

町内会に入ることのメリットについて、集合住宅にお住まいの方から、町内会に加入しているのに広報や回覧が届かないという話を聞いた。町内会費は管理会社を通じて納めているのにメリットがない状態になっている。

ごみステーションの掃除、クリーン大作戦も町内会が行っており、未加入者は参加しない。クリーン大作戦については市の事業なので未加入者にも参加してもらえよう市が周知すべき。

町内会に入るメリットを増やすことを考えないと加入率は下げ止まらないと思う。

【谷口座長】

メリットを増やす悪い例として、未加入者にはごみステーションを使わせない、未加入者の家の前の防犯灯は取り外すという方法があるが、こうした方法は未加入者と加入者の溝をより深めるだけである。どの国でも一緒だが、コミュニティというものは必ず汗をかくこと、負担がないと成り立たない。地域に住む以上は、自治体に住民税を納めるように、地域の安心・安全の維持に必要な負担を引き受けてもらう必要がある。その上でコミュニティに入るメリット、安心感を得られるとよい。

スマホが普及する前は、引っ越してきたらご近所さんに色々なことを聞く必要があったが、今はスマホを使って自分で調べられるようになったため、スマホがあれば安心という人が増えている。因果関係は証明さ

れていないが、スマホの普及が町内会加入率に影響している面もある。

【谷口座長】

市民向けアンケートはどのように実施するのか。

【事務局 亀田】

ウェブアンケートの形式で行う。市のホームページ、公式LINE等で周知し、回答を募る。

【谷口座長】

市公式LINEの登録者数はどれくらいか。

【事務局 林】

現在の登録者は13,654人である。

【谷口座長】

春日井市はEモニターの制度は利用しているか。

【事務局 亀田】

今のところ利用していない。

【谷口座長】

県内のいくつかの自治体ではEモニターの制度を使ってアンケートを実施している。市民に事前にEモニターとして登録してもらい、市の実施するアンケートに回答すると市内で使えるポイントがもらえる仕組みで、SNS等で回答を募るよりも多くの回答が見込める。今回のアンケートについてどれくらいの回答数が得られるのか少し心配である。

【事務局 亀田】

参考として、令和元年度に同様の方法でアンケートを行った際は、554名に回答していただいている。

【谷口座長】

500名から回答があれば十分だと思うが、より回答したくなるような仕組みができるとよい。

7 その他

【谷口座長】

今回の会議全体を通して何か意見があれば聞きたい。

【平出委員】

高齢化とごみステーションについて、町内会に加入している人は戸別収集、未加入者はステーション収集とするのはどうか。町内会はステーションの管理をしなくて済むうえ、高齢者にとっては、ごみステーションまでごみを運ぶ必要がなくなり、加入するメリットになる。

【丹羽委員】

集合住宅の加入促進についての事例を詳しく知りたい。

【谷口座長】

自分が住んでいた集合住宅では、賃貸の場合でも家賃、共益費と合わせて町内会費を徴収しており、町内会の役も回ってきた。こういった形を作るには、集合住宅の建設前に不動産会社や大家に対して自治体から町内会加入についての働きかけを行う必要がある。

地域のお祭りについても集合住宅の住民や、企業の従業員を祭りの担い手として取り込んでいくことで継続させられる。

【丹羽委員】

集合住宅の管理会社等に対して加入をよびかけるマニュアルがあるとよい。

【谷口座長】

春日井市として集合住宅の町内会加入について方針が示せるとよい。

【丹羽委員】

大規模な開発であれば町内会側の意見を言いやすいが、小規模な集合住宅や戸建分譲などは言いにくい。

【谷口座長】

不動産会社や賃貸仲介会社の中で、町内会に入るのがこの地域では当たり前だという意識が根付けばよいが、大都市近郊の地域では新住民が多いため難しい。

【安藤委員】

市の支援制度について、市の方向性は拡充か縮小か。

【事務局 林】

今回見直すのは、市民活動推進課が用意している支援制度についてのみとなるが、町内会にもっと使っていただける効果的な支援制度になるように見直していきたいと考える。見直しの内容については今後の検討会議を通じてご意見を伺いたい。

【安藤委員】

市の補助金、助成金は町内会にとって貴重な財源でもあるので慎重に見直してほしい。

上記のとおり第1回春日井市町内会活動支援検討会議の議事の経過及びその結果を明確にするためにこの議事録を作成し、出席者2名が署名する。

令和4年11月11日

委員 天野 美穂

委員 安藤 秀司